

南海トラフ大地震

三本松に

その日が来たら---

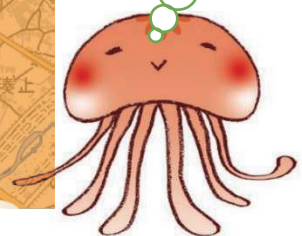
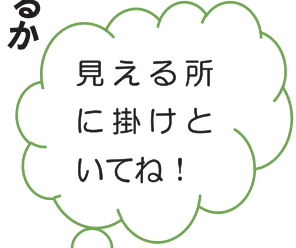


三本松地区防災計画 ダイジェスト保存版

今から知っておこう！
必要な行動や事前準備を

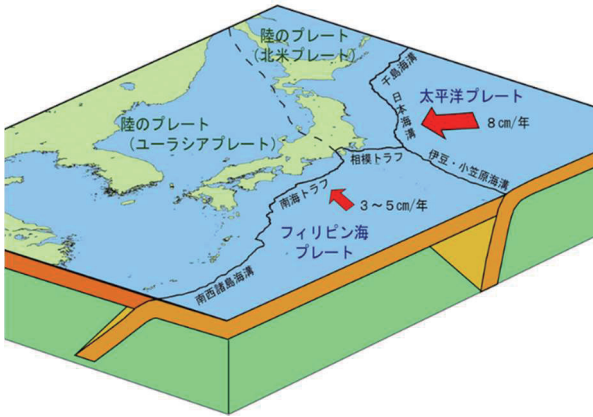


最悪の状態を想定して
南海トラフ地震はどうして起こるか
三本松ではどれだけ揺れるか
液状化はどのあたりで起こるか
津波が発生したらどうするか、どこへ逃げるか

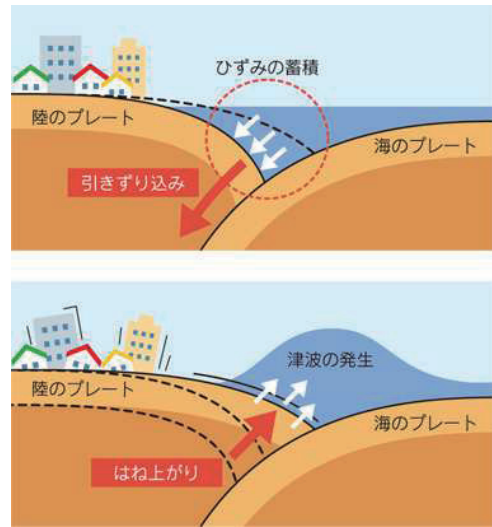


南海トラフ巨大地震とは！！

南海トラフとは、四国から紀伊半島の沖の水深4,000m級の海底に繋がる深い溝のことです。ここで、陸側のユーラシアプレートの下に海側のフィリピン海プレートが潜り込んでいます。1年に3～5cmずつ潜り込むので少しずつひずみがたまり、それが限界に達して跳ね上がることで大きな地震となり、津波が発生します。



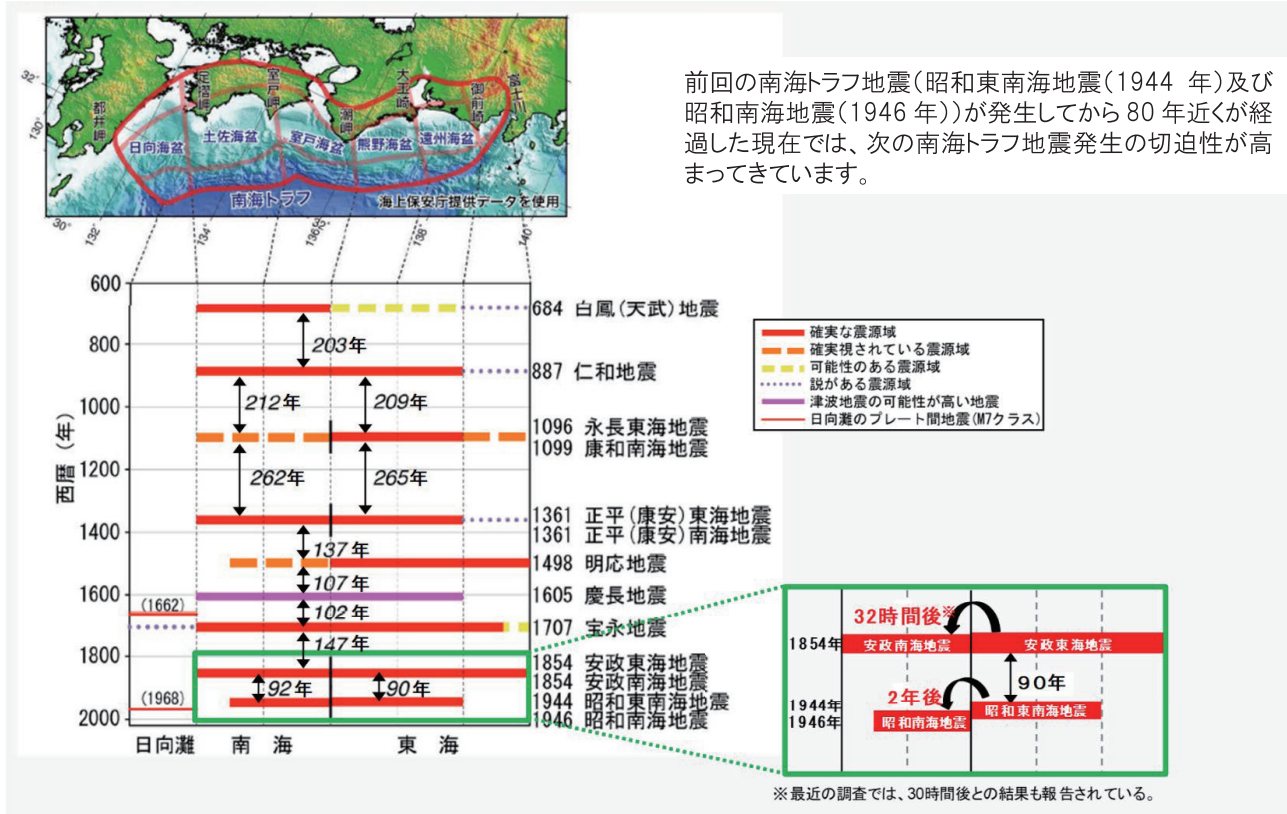
気象庁「南海トラフ地震とは」から引用



熊本防災「津波災害から身を守る」から引用

南海トラフでは、概ね100～150年間隔で津波を伴う大規模地震が発生しています。そして、ここ数十年の間にこの大地震が発生することが確実視されています。その中でも、最大クラスの地震を南海トラフ巨大地震と呼びます。

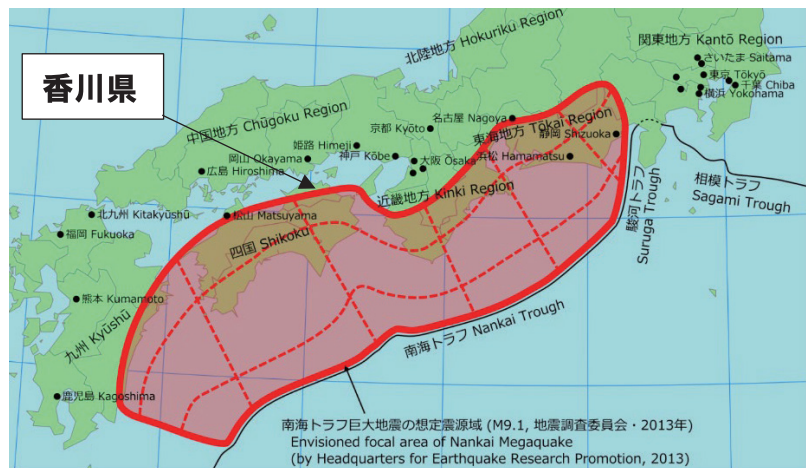
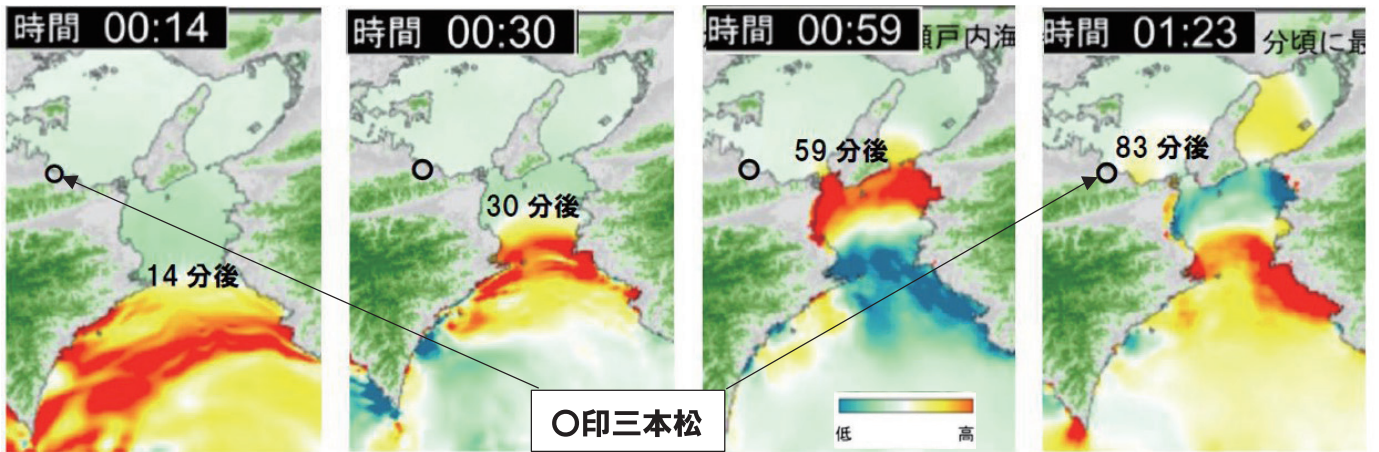
南海トラフ沿いで過去に発生した大規模地震の震源域の時空間分布



内閣府 防災情報のページ 南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応のあり方について(報告)(平成29年9月26日公表)から引用

南海トラフ巨大地震の津波シミュレーションと三本松の位置

津波第1波到達時間と到達場所(香川県地震・津波被害想定(津波シミュレーションCG)から)



南海トラフ巨大地震が起こった時、三本松地区では、最大震度6強～7の地震が起こり、液状化現象の発生で地面が沈下、陥没して避難するにも非常に危険な状況になり、1時間23分後には瀬戸内海から津波が襲ってくる状況が想定されています。

このような大きな災害に私たちはどのように備えるか、起こった時はどのようにして逃げるか、直ぐには公的支援が得られない最悪のケースを想定して、この冊子にまとめました。

大規模災害が発生した時は、市や公共機関もすぐに助けに来ることができない場合があります。

大規模災害が発生した時、その時は、「自分の命は自分で守る」、「私達の地域は私達で守る」という強い気持ちを持ち、自らが行動を起こすことが大事になります。

この自助と共助の考え方と地域ぐるみの協力体制が、地域の被害を最小限に抑え、地域の防災力を高めます。

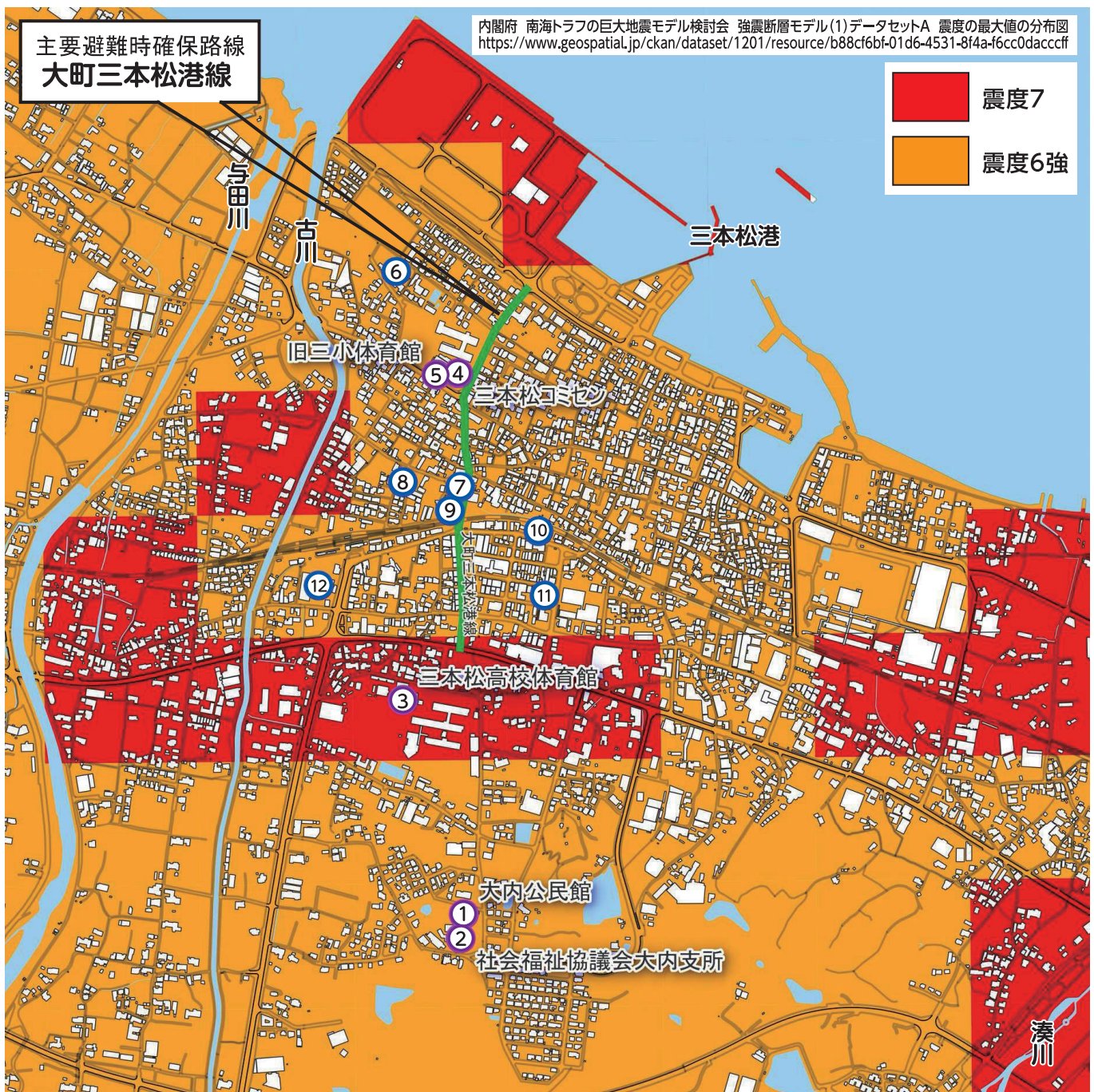
三本松は古くから三本松港を中心に活気のある街が形成され、三本松高校の移転や山の手の開発で住宅街も広がり、自治会活動や各種文化活動も継承され、盛んに行われています。

大災害が起こっても、周辺地域を含め、自治会や自主防災組織、婦人会などの地域団体や民生委員と協力し、被災者への支援、避難所運営などを役割分担しながら、公的支援が来るまで、共に助け合って生き延びて行きたいと思えます。

(ア)地震の揺れによる被害

- **想定最大震度**；
南海トラフで千年に1度の巨大地震が発生した場合、三本松地区の想定最大震度は6強～7です。
南海トラフの発生頻度の高い地震でも三本松地区の同震度は6弱です。
- **震度と揺れの状況**
震度6強；這わないと動けないほど揺れる。固定していない家具は移動し、倒れるものもある。
耐震性の低い木造家屋は傾くものや倒れるものが多くなるなど、です。
震度7；動けず、飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが倒れる。倒れる建物が6強より増える、などです。
- **火災発生**；震度6以上では火災が発生する可能性が高くなります。
- **大規模地震が起こった場合の対処法**
①家の中では丈夫な机の下などに入る。家の外では建物から離れる。
②揺れが収まったら家族と声を掛け合って無事を確認する ③火事が出てないか確認する
④外へ出て隣近所と無事を確認する ⑤配電盤のブレーカを落とし、水道の蛇口を閉めて避難する
⑥負傷者や家屋の下敷きになった人がいる場合、また、火事が出ている場合は大声で近くの人に知らせ、救出活動や消火活動を行います。

「南海トラフの最大クラスの地震時の震度分布図」(香川県地震・津波被害想定から)



(イ)液状化による被害 地盤の流動化と家屋の倒壊、主要避難経路の変状

- **液状化危険度**；三本松地区は、前山地区など下図の灰色の部分を除き、Aランクです。
- **液状化現象の発生**；海岸や河口付近、埋立地、河川の下流域などの緩い砂地盤に震度5以上の強い地震動が加わると、地層自体が液体状になる液状化現象が発生する場合があります。
- **液状化現象の様子**；液状化により、地面が沈下・陥没する、地中から水や砂が噴き出す、マンホールや埋設管が道路の表面に飛び出すなど、非常に危険な状態になります。
また、液状化危険度Aで最大震度が6強～7の場合は、建物の耐震性が高くても不等沈下が起こり転倒ないし倒壊に至る場合もあります。
- **注意!!** 避難の際には液状化に気を付けて行動して下さい。夜間は特に注意が必要です。
- **液状化防止対策**；避難ルートは大町三本松港線が極めて重要です。この道も巨大地震発生の際は、液状化の可能性があります。安全安心な避難ができるように、液状化防止対策を市や県にお願いしていきます。

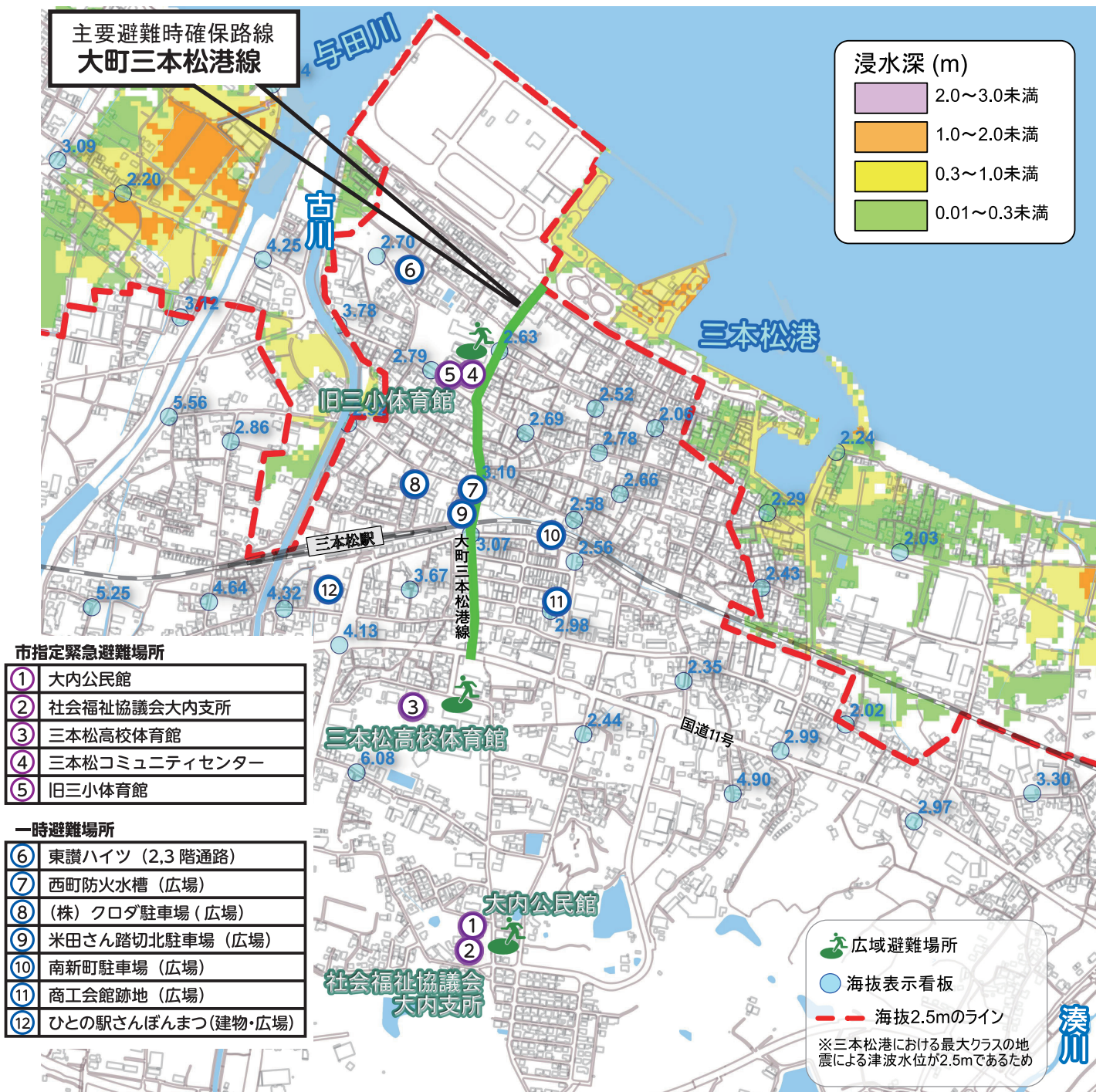
「液状化危険度予測図」(香川県地震・津波被害想定を基に土地条件図を参考に一部加筆)



(ウ)津波による被害

- 三本松地区の津波水位；海拔2.5m(県の想定)
- 三本松地区で被害が予想される地区；古川の沿線の西町8区や大町2区、浜町、三本松港に近い西浜、東浜、松の下、大東の一部地区
- 津波到達予想時間；三本松地区83分(1時間23分)。
- 津波の襲来予想；津波は三本松港の岸壁を乗り越え、また、与田川、古川を遡って来ると予想されます。まず自身の安全を確保したうえで、津波の影響を受けない地域まで避難して下さい。
- 安全な避難場所まで避難ができない場合は、近隣の津波一時避難場所(東讃ハイツ、旧三小体育館)などの堅牢な建物の2階以上に避難して下さい。
- **注意！！** 想定内の被害で終わらないことも多く報道されています。巨大地震発生、津波発生時には、国道11号より南のできるだけ高い地域へ逃げて下さい。要援護者を伴う避難以外は自動車での避難はできる限りしないで下さい。

「津波ハザードマップ(東かがわ市津波ハザードマップ 大内エリアから)と津波一時避難場所」 (⑤～⑫は三本松地区活性化協議会提携の津波一時避難場所です)

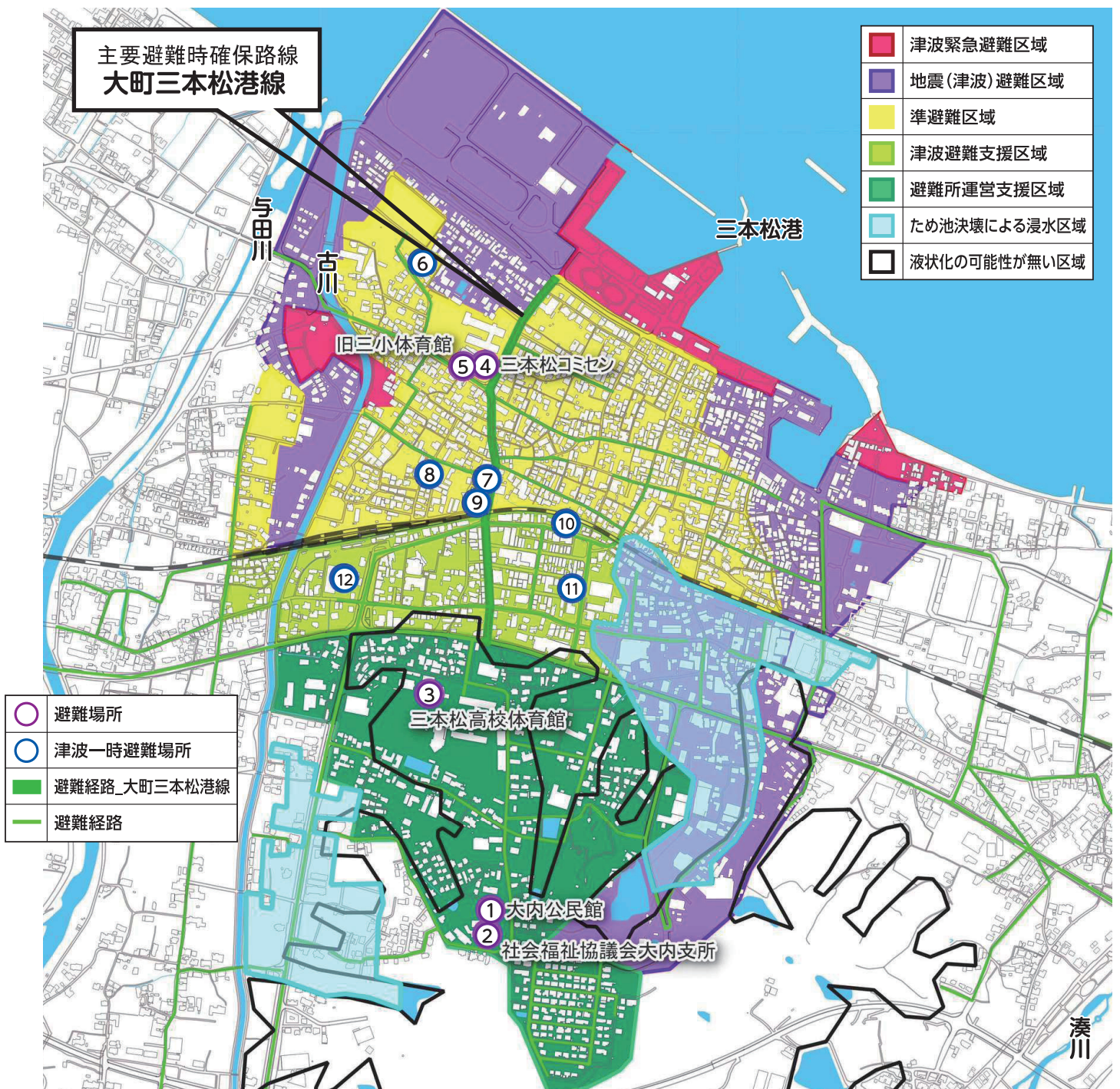


(工)大規模地震・津波発生時の避難・支援区域分類

三本松地区活性化協議会は、津波発生時の避難区域、支援区域等を次の様に大きく分類しました。

- ・津波緊急避難区域；**赤**、地震(津波)避難区域；**紫**
自治会名；西町8区、浜町、西浜、東浜、松の下、大東
- ・ため池決壊避難区域；**青**
自治会名；大井戸2区、島の内
- ・準避難・避難支援区域；**黄**
自治会名；西町全域(1、2、東讃ハイツ、3・5・6、4、7、8区)、大町1区、中・北・本町
- ・避難支援・避難所運営；**黄緑、緑**
自治会名；大町1区、2区、南新町、大井戸1区、前山
- ・安全な避難行動；JR線より南、更には国道11号より南に逃げて下さい。避難場所は大内公民館、三本松高校体育館です。地震によるため池決壊・浸水の恐れもあります。避難ルート選定には注意下さい。
- ・支援；避難支援、避難所運営の可能な方はお手伝いをお願いします。

「大規模地震・津波発生時の各自治会の避難・支援区域分類図」



大きな地震への備え1 安全な避難のために

巨大地震・津波発生を想定して

あなたの家、避難場所、避難ルートを地図に書いてみて下さい!!

- ①自宅の位置にしるし(○)を付け、自宅から避難場所迄の避難ルートを、避難経路に沿って、太い線で書き込んで下さい。車は使えないと考えて下さい。
- ②巨大地震・津波発生の場合の避難場所は、大内公民館、三本松高校体育館です。
- ③津波到達予想時間は83分(1時間23分)です。間に合わない時は、東讃ハイツや旧三本松小学校体育館などの大規模地震津波一時避難場所や、近くの頑丈な建物の2階以上に一時避難して下さい。そのルートも記入して下さい。
- ④ブロック塀やトランスの有る電柱などの位置を確認しながら、そのルートを歩いて見て下さい。



防災関連施設

表1 大規模地震・津波時の避難場所及び緊急避難場所一覧(市指定広域避難場所)

No.	名称	住所	公衆電話	AED
1	大内公民館	三本松 1296-36	○(外)	○(内)
2	社会福祉協議会大内支所	三本松 1295-15		-
3	三本松高校体育館	三本松 1500-1	-	○(外)
4	三本松コミュニティセンター	三本松 862-2	○(外)	○(内)
5	三本松コミュニティセンター多目的ホール(旧三小体育館)	三本松 862-1	-	-

表2 大規模地震時の一時避難場所(三本松地区活性化協議会協定)

No.	名称	住所	公衆電話	AED
6	東讃ハイツ(2,3階通路)	三本松 843-8	-	-
7	ひとの駅さんぼんまつ(建物,広場)	三本松 1172-1	○(内)	○(内)
8	西町防火水槽(広場)	三本松 663-1	-	-
9	(株)クロダ駐車場(広場)	三本松 722-1	-	-
10	米田さん踏切北駐車場(広場)	三本松 664-3	-	-
11	南新町駐車場(広場)	三本松 658-3	-	-
12	商工会館跡地(広場)	三本松 680-144	-	-

表3 地域の店舗と公衆電話、AEDを設置している施設、場所

No.	名称	住所	公衆電話	AED
13	ムーミー三本松店	三本松 707	-	-
14	ローソン三本松店	三本松 1210	-	-
15	レディ薬局(株)東かがわ店	湊 852	-	○(内)
16	百十四銀行三本松支店	三本松 680-22	○(外)	○(内)
17	JR三本松駅	三本松 1152-3	○(外)	-
18	西町8区自治会集会場横	三本松 933-2	○(外)	-
19	東讃漁業協同組合	三本松 2251-2	○(外)	-
20	東かがわ警察署(AED24hr可)	三本松 1723-2	-	○(内)
21	高松信用金庫	三本松 609-1	-	○(内)
22	帝國製薬(株)	三本松 567	-	○(内)
23	赤沢眼科医院	三本松 680-32	-	○(内)
24	田村内科医院	三本松 353	-	○(内)

(※三本松地区活性化協議会の調査により、掲載にご協力頂いた施設) (外)：屋外 (内)：屋内

編集後記

南海トラフ巨大地震の切迫が叫ばれ、また、災害のニュースが各地で聞かれる2018年、必要に迫られる形で防災部会を中心に勉強会をスタートし、皆さんの協力を得ながら令和3年度に三本松地区防災計画を完成できました。このダイジェスト版は、その中から、南海トラフ大地震に絞って、「三本松で想定される被害や、いざ発災時にどのように行動し、どこに避難すべきか」を、無料の地図ソフト(QGIS)と地理院地図を使い、防災まち歩きの結果も取り入れ、全戸配布用にわかりやすく表示したものです。是非ご一読頂いて、防災・避難の一助にして頂ければ幸いです。

2023年(令和5年)3月 三本松地区活性化協議会

大きな地震への備え2 安全な避難のために

食糧、飲料の備蓄

●少なくとも3日（できれば1週間）は自力で生活できるように準備

- 飲料水 ※1人1日3ℓ
- 食品 ※アルファ米、長期保存食品など
- 給水用ポリタンク バケツ
- カセットコンロ ガスボンベ
- 使い捨ての食器類
- 食品用ラップ
- ランタン
- 災害用トイレセット
- からだ拭きシート
- 水のいらないシャンプー
- ガムテープ
- ビニールシート



- 備蓄品は、いざというときに支障がないように、定期的に点検しましょう。
- 上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

非常持ち出し用バッグの準備

非常持ち出し品(例)

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサック等につめておきましょう。



貴重品

- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 免許証
- マイナンバーカード
- 通帳

衛生用品

- 救急セット ※常備薬も
- タオル
- マスク
- 消毒液
- 体温計
- トイレットペーパー

情報収集用品

- 携帯ラジオ
- 携帯電話（スマートフォン）の充電器
- モバイルバッテリー
- 筆記用具
- 予備の電池

非常飲食品など

- 非常食 ※軽く高カロリーのもの
- 飲料水
- 給水袋
- 万能ナイフ
- 缶切り

安全用品

- 懐中電灯 ヘルメット
- 防災ずきん 軍手 スリッパ
- マッチ ライター

冬の備え

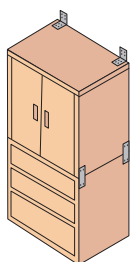
- 毛布 保温シート
- 使い捨てカイロ
- 防寒具（帽子、手袋など）
- 冬用の衣類（厚手の靴下など）

室内の安全対策

自宅の家具も地震時には凶器となり得ます。家具を固定し、安全対策に努めましょう。

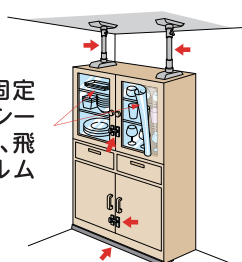
タンス・本棚

L字金具で固定する。



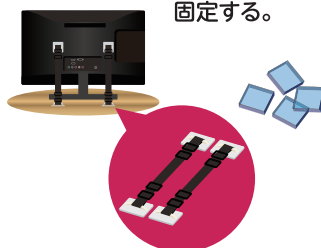
住宅事情により金具が取り付けられない場合は、支え棒を使って下さい。(60cm以内)

金具などで固定し、滑り止めシートや止め金具、飛散防止フィルムを貼る。



テレビ

できるだけ低い位置に転倒防止マットなどで固定する。



ピアノ

ナイロンロープなどを巻きつけ固定。脚には、すべり止めをつける。



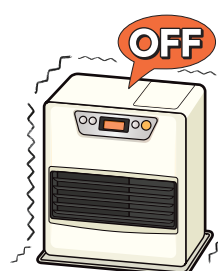
冷蔵庫

所定の取り付け場所（運搬用取っ手など）を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。



暖房器具

耐震自動消火装置付きのものを。周囲に燃えやすい物を置かない。



地震・津波災害が起きたら

地震・津波の対策

緊急地震速報
地震発生

地震発生!!

まず、身を守る!

▶ 家の中にいるときは…

机やテーブルの下などにもぐり、身を守りましょう。



▶ 外出中の場合には…

屋外にいる場合は持ち物や両手で頭を守り、公園や広い場所に避難する。

2~3分

揺れがおさまったら…

身の回りの安全確保



コンロなどの火を消す。火が出ても落ち着いて初期消火。



家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。

3分

気象庁から津波情報発表

避難の判断を



火災、家屋倒壊の危険やガス爆発等、二次災害の兆候はないか確認しましょう。

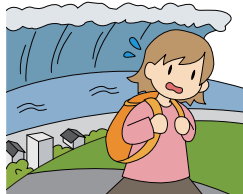


テレビ・ラジオ・防災行政無線などで、正しい情報を聞きましょう。

数分~数十分

津波がある時は…

高台へ避難!



より高く、より奥へ逃げる
浸水予測外でも安心しない!
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い高台」へ避難しましょう。



注意報、警報が解除されるまで海辺や河川には近づかないようにしましょう。

数十分~数時間

津波の危険がなくなったら…

救護・消火活動



地域ぐるみで協力し合い、応急救護・消火活動を行いましょう。

数日

避難場所・自宅待機

しばらくは警戒を



3日間は備蓄品で自活できるよう、日頃から準備をしておきましょう。



余震・津波に警戒し、テレビ・ラジオ、防災行政無線などから正しい情報を聞きましょう。

わが家の防災・緊急情報メモ

災害時・緊急時の連絡先などの情報をまとめておきましょう。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・東かがわ市に情報を提供します。

緊急情報

わが家の避難所

施設名	電話番号

家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校など)	電話番号	携帯電話番号

家族の緊急情報・救助メモ

家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー	かかりつけ医療機関

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。

家族同士の安否確認方法

災害用伝言ダイヤル171 保存期間48時間 一般加入電話や公衆電話、スマホから利用可

☆171に電話をかけて伝言を録音すると、電話番号を知っている家族が伝言を再生できます。

災害用伝言版

☆スマホやPCなどからインターネットを使用して文字情報を登録すると、家族が情報を閲覧できます。

